

# THE NORTH FACE CUP 2016 予選会ルール

1. 各カテゴリーの競技タイムスケジュールで指定された時間内に課題（コース）をトライしていき、完登した課題数で順位を出します。課題数は各カテゴリー10 課題です。競技エリアは5～10 エリアに仕切られており、好きなエリアに並んでトライします。  
\*セッション時間、競技エリア数は会場により異なります。
2. 課題のスタートホールドには番号が付いていて、各カテゴリーで指定された番号の課題を登ります。課題番号は大会当日のジャッジシートに記載されます。  
競技前にご確認下さい。
3. スタートの条件は基本的に両手（課題番号の付いたスタートホールドを）、両足（足を地面から浮かせて安定した状態\*スメアリングも可）でスタート。  
その他、条件付きの課題があった場合必ず取り付きに表示してあります。  
条件付き課題についてのご質問は担当エリアのジャッジにお尋ね下さい。
4. 完登はGの表記をしてあるホールドを両手で保持した時に有効となります。  
\*必ずジャッジに完登のOKを確認してからおいてください。ジャッジの確認が取れていない場合は、完登とみなされません。  
ボーナスポイント（課題の中間ポイント\*Bと表記）はボーナスがついているホールドを保持した時のみ有効です。（タッチや振られ落ちの場合認められません。）  
ボーナスポイントにはB①とB②があり、B①を使わずにB②を保持した場合は、B①も保持したことになります。  
完登した場合は、B①とB②を保持したことになります。
5. ジャッジシートは大会当日受付にて渡されます。  
課題の結果記入は各エリアのジャッジが記入します。  
また、必ずトライする課題の番号をジャッジに伝えてからトライを開始して下さい。
6. ジャッジに間違いがある場合はトライ直後にジャッジに申告して下さい。  
時間がたってからの申告は無効となります。  
\*競技終了後は、ジャッジシートを近くのジャッジに必ず渡して下さい。

7. 順位は完登数の多い順で決まります。完登数が同じ場合は B②の数で順位をつけます。さらに同着の場合は、B①の数で順位をつけます。
8. 時間内の最終トライは認めます。
9. エリア間の境界線テープを越えて足を壁にスミアリングすることは OK ですが、境界線を越えて手や足でカンテ・凹角を使用することは禁止致します。また、壁の形状（カンテ、凹角）を使うことは OK ですが、壁の末端を使うことは禁止します。リップも指定された（テープの張られた部分）場所以外使用できません。壁に備え付けられたハリボテ（形・素材は様々）は、コースのテープが張ってある場合、使用可能です。テープが張られていない場合は、手足がふれることを禁止致します。デマケーションテープが張ってある場所から、手足が出て壁に触れたり使用することは禁止です。
10. トライしている課題以外のホールドを使ってはいけません。間違っ使用してしまったり触れてしまった場合、使用前のポジションに戻れたときは、競技をそのまま続行できます。戻れなかった場合は、そのトライを中断してください。その時点での高度まで有効となります。
11. 競技前や競技中は、課題のスタートホールド以外は触ってはいけません。
12. クリーニングはジャッジに声をかけてブラッシングしてもらってください。ご自身でブラッシングしたい場合はジャッジに声をかけてブラッシングできます。
13. 競技終了後、ジャッジペーパーを渡し忘れてしまった場合や、途中ケガをしてしまうなど競技を最後まで続けられなかった場合等は、リザルトには棄権扱いとなります。また、本戦出場獲得者人数は棄権者を除いた人数で計算されます。
14. 壁のボルト穴を使用することは禁止といたします。
15. 競技中にホールドの破損又は回転などそのエリアが競技ストップしてしまった場合は、1 回につき全体の競技時間を最大 5 分延長とさせていただきます。ホールド破損時にその課題をトライしていた本人を最優先で競技再開とさせていただきます。
16. ホールドが破損した場合、代替りのホールドを用意いたします。チーフセッターの判断の元、コースの変化がない適したホールドをご用意いたします。